

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

日山協救急指導員講習会 県山協遭難救助講習会併催報告

下越山岳会 田 辺 信 行

昭和63年11月26日、27日、新発田市五十公野野潟、新発田市青年の家及び同市五十公野岩井戸岩壁ゲレンデにて本講習会が実施されました。

数日前から続いていた悪天候のなかを日山協田中文男遭難委員、北川雅昭、半澤稔、西崎泰、城所邦夫の4遭対常任委員が講師として来講され、参加者は、山形、長野、石川、福井の県外勢6人及び室賀県山協会長、五十嵐県山協遭対委員長以下本県関係7団体、24名、総数35名(11月26日33名、27日30名、男33女2)の出席で2日間充実した講習内容で行われました。

を提唱している。ヘリ使用は救助本来の迅速救助、時間面から有利、タクシー代りに使う時代と考えている。自衛隊出動の手続き手順について、ヘリポートについて、民間機使用について説明があった。マスコミ担当は必ず1名のみとし、間違った情報を出さない配慮、注意が必要である。打ち切り宣言については、責任者が家族へ直接伝え、経過と現状、今後の行動、打ち切り後の捜索継続方法などの方針を適切に伝えること。手際よくやってもミス、落ちがある。整理点検して対処すること。以上かいつまんで報告いたしました。日山協ではこれらのノウハウを整理し、本として作成すべく準備中の由、早の出版を期待したい。

①情報源を正確に把握する、②記録する、あらゆることを正確に記録する、③事故の内容と対応、的確なメンバーの選定、必要な装備・機材等の用意、④全体の責任者の決定、右往左往することのないように、⑤本部の設置、臨時電話を引くと至極便利、⑥救助隊員メンバーの選定、友情でなく技術本位で選べ、⑦家族担当を配置する、常時家族に付いて遭対とのパイプ役となる、⑧警察とは極めて友好的な円滑対応を行う、警察の傘下に入ることは大変有効な手段、⑨地元山岳会関係者とも存分な協力を得られるようにする、⑩現地チーフリーダーに10円100円の小銭を多く持たせてやると便利等々。

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

①情報源を正確に把握する、②記録する、あらゆることを正確に記録する、③事故の内容と対応、的確なメンバーの選定、必要な装備・機材等の用意、④全体の責任者の決定、右往左往することのないように、⑤本部の設置、臨時電話を引くと至極便利、⑥救助隊員メンバーの選定、友情でなく技術本位で選べ、⑦家族担当を配置する、常時家族に付いて遭対とのパイプ役となる、⑧警察とは極めて友好的な円滑対応を行う、警察の傘下に入ることは大変有効な手段、⑨地元山岳会関係者とも存分な協力を得られるようにする、⑩現地チーフリーダーに10円100円の小銭を多く持たせてやると便利等々。

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

救助隊は必ず保険加入、隊員の氏名、住所、勤務先、電話等を壁に張り出しておく。日山協はヘリコプター使用

(2) 救助活動の実際

前半は新潟山岳会阿部信一氏の本年7月に発生した遭難事故の報告、後半は翌日岩井戸岩壁ゲレンデでの実習の2部構成で行われた。

新潟山岳会阿部信一氏報告要旨――7月9日、中蒲村松町木六山羽沢の核心部、ム沢F10でトップは登り終えセカ

ンドをビレイ中、セカンドが約30m滑落し(カスリ傷程度)トップはセカンドを支えきれず転落し、頭部打撲と脊髄損傷で意識不明となったため救助活動を展開した。当時梅雨末期の大雨のなか絶えず苦しい救助活動を余儀なくされ、事故から3日目の7月11日救助を終えた。

遭難の原因はトップがセルツビレイを行なわなかったことである。反省点は多々あるが、①公的無線機が雨で使用不能となり連絡がスムーズに行かなかった。②沢の中は熟達者でないといけない。救助隊延人員380人を要した点などが挙げられる等々報告があった。

(3) 日山協共済保険の活用
仕方 田中遭対委員長
日山協共済保険料は、年額7,920円で月にして660円。支払いは、死亡150万円、捜索費100万円までである。
日山協はヘリコプター使用で効率、効果のある捜索等を提唱している。
24時間音信不通は遭難とみるべきである。
遭難事故を起すと関係者か

第一日目、11月26日(土)、天気は雨や曇、青年の家研修室にて午後1時30分開講式、オリエンテーション、講師紹介につづき講習に入った。

(1) 遭難対策の進め方(発生から終結まで)田中遭対委員長

事故発生。事故発生と共に遂次諸手配を行い救助まで持

ら叩かれる理由に、登山計画書が出ていない、登山保険に加入していないなどがあるが、厳にこれらを無くすべきである。

現在損害保険事件が全国で7件争われている。世の中の動き、色々な面で責任を問われ保障を求められている動きからも保険が必要である。

捜索隊員に保険を掛ける必要があり、これも捜索費用扱いとなった。3000万円7日間が付けられる。

本県山協組織者の10%程度しか加入しておらず、この倍位には是非加入促進努力を。多数の加入で保険料が下り、給付額等内容を改善向上させることができまますのでよろしくとお願いがあった。

(4) 遭難と気象 城所遭難常任委員(日本気象協会)



山と溪谷別冊の「冬山の遭難と気象」をテキストとして解説があった。

山者にとって最も恐るべき気圧配置である。また日数が多いのは日本海低気圧型で、春先雪崩

山と溪谷別冊の「冬山の遭難と気象」をテキストとして解説があった。

気象遭難に遭わないためには、気象を注意深く研究すれば難しくないと考える、として講義は天気図、分析図表等により行われた。

①気象による遭難事故の原因別では、雪崩50%、凍死41%、突風6%、その他3%。②気圧配置型からみた遭難例、西高東低型50%、日本海低気圧型21%、二ツ玉低気圧型12%、南岸低気圧型9%、その他8%発生している。西高東低型の気圧配置では雪崩遭難事故が多く、悪天をもたらす原因の気圧配置は、いずれも天気図さえよくみていれば予想可能である。③過去の代表的な気象遭難事故(積雪期)、事故当時の気圧配置を見ると二ツ玉低気圧型

のときが最も多く、我々登山者にとって最も恐るべき気圧配置である。また日数が多いのは日本海低気圧型で、春先雪崩

が主となっている。箴言「登山技術の未熟さも事故原因だが、気象判断の適確さを欠くことも冬山遭難の大きな要因となるものだ。」心したい結びでした。

第一日目終了に当り、地元新発田市長近寅彦氏から歓迎のあいさつと差し入れがあり、盛大な拍手が起った。

第二日目、11月27日(日)、晴、救助活動の実際の第二部。北川、半澤両常任理事。

岩場における救助活動の実際、事故から事故脱出までとして、岩井戸岩壁、ゲレンデ前広場(積雪10cm強)にてシットハーネス、カラビナ、シュリンゲ、テープなどを身に付けて、①準備講習、ザイルワークの解説と実習、②岩壁講習、片手懸垂、救助1、負傷者を背負い両側からサポートしつつ降下。救助2、負傷者と一緒以降下。救助3、負傷者を背負い他の者がザイル操作し降下させる。

え、ヘルメット等もキチッと用意させること。②安全環、滑車、細引きなど登山時必要、セルフレスキューも自分で考え教えて行くこと。③現役の一線級の人へ教習して行くこと。④もっと多数集まって欲しい等、厳しい注文もあって欲しい等、厳しい注文も

京都国体に参加して

高田ハイキングクラブ

七 沢 恭 四 郎

第43回京都国民体育大会は、昭和63年10月14日から19日まで行われ、山岳は京都北山山城を会場として熱戦が繰り広げられました。成年男子は選手、古沢勝美、稲田春男(以上高田ハイキングクラブ)、荻部一雄(笹神村うすゆき山の会)、監督、七沢恭四郎で参加しました。

昭和62年で全国一巡した国体は、第1回国体と同じ京都で開会されました。また山岳競技は正式種目になって、本大会で8回目という若い競技であります。今回新潟は山岳競技では、初めてのフルエントリーで参加出来ました。これも一重に、故吉野国体委員長と、皆様のご支援の御陰で

ありました。以上についていざれ県山協の伝達講習が行われると思いますが、2日間に亘る有意義な講習内容の概略は紙上でお伝えすべきと考え、一部分ですが当日書記を担当した者の報告とさせていただきます。

本大会までの間、私達は事前調査及び練習に、7月末より10月上旬まで、9回程京都に行きました。金曜日の夜7時頃出発して、翌朝3時〜4時頃着き、土曜日1日と日曜日半日練習に励み、午後1時頃出発して、上越へは夜の8時頃、新潟へは10時頃帰ってきました。この間仕事と練習を両立させる為、経済的にも肉体的にも大変で、それなりの苦労がありました。

◎本国体日程と経過
10月14日 監督会議 午後3時 大原中学校、宿泊 大原 右知平
10月15日 開始式 午前8時 大原小

学校、天気図作成 午前8時45分 大原中学校、総合開会式 午後1時 西京極運動公園、宿泊 高雄 高雄観光ホテル。

※ 西京極での開会式は、今迄経験したことのない感動を覚えました。

10月16日

競技初日、B隊の23チームの中に入って参加しました。

踏査会場は、周山街道と嵐山高雄パークウェイが合流する地点高雄。清滝川に沿って上流の檣尾(まさお)、梅尾(とがのお)の三尾の里より山腹にある、神護寺、西明寺、高山寺などの名刹と、峰山、朝日峯の中腹、高雄山を通過して行われました。スタート、ゴール共に神護寺でした。

朝5時に起床して、前日計量した装備をパッキングしながら点検、6時30分朝食をとり、踏査会場神護寺には7時30分 に行きました。8時に点呼、競技についての説明があり、1番は9時にスタートし、3分間隔で23チーム行うとのことでした。新潟は5番目だったので、計量、踏査用地図配布後、9時12分に掛け声とともにスタートしました。

チェックポイント通過の無線が入ってくる、第1ポイント(峰山下) 10時28分通過、第2ポイント(6号橋) 11時16分通過、第3ポイント(神護寺金堂) 12時10分でした。ここには設問所も併設されており、読図票を解答し、定点を記入した踏査用地図を提出し、12時20分にゴールしてきました。

ご苦労さんと声を掛けながら、待機所に行き、弁当と松茸汁で昼食を取りました。その中で、競技を振り返って、踏査コースと定点、読図を聞き、事前調査のやり方を反省しました。宿泊地古知平へ、夕食前に帯刀コーチの案内で、室賀会長、藤井常務理事、森国体委員、山田国体委員が激励と高麗人参のエキスを持ってきて来られた。選手一同恐縮した。

10月17日

2日目は大原金毘羅山エムケイ岩場で、B隊23チームを3班に分け、新潟は2班となり登攀が行われた。

朝4時30分起床し、装備点検、江文神社入口には6時5分に着きました。そこには前夜より車を走らせて着いたばかりの、笹神村うすゆき山の石山さん、金沢さんが応援に掛けつけてくれていた。「やあ、ありがとうございませう。」と会釈を交し会場へ行ききました。競技の説明と試登を見て、新潟チームは2班で6番目だったので、競技場脇の空地で、石山さんが焼いた餅を御馳走になった。1班が終了する頃、雨が降ってくる。2班に入り、広島、愛知が難しく登った。福岡はAが取り付き点で、タイムオーバーとなり中断、茨城、宮城も雨の為滑って中断した。いよいよ吾がチームである。石山さん、荻部さん、金沢さんの声援に、応えて、Aの稲田選手が1ピョンにビレーを掛けると、競技場全体から声援が湧く。前3チームが失敗しているからである。Bの古沢選手も難なくゴールラインを通過し、時間は8分10秒でした。その後、

縦走が行われました。

朝4時に起床し、再度の計量とパッキング、朝食もそこそこに、上黒田に7時10分に着きました。7時40分より点呼と競技の説明があり、9時より1番がスタートし、新潟チームは13番に、帯刀コーチ、石山さん、金沢さんの声援に送られて、9時12分にスタートしました。特区ゴールの無線が入ってくる。10時34分、しばらくしてコースゴールに吾がチームが入ってくる。計量、装備審査、記録票の提出、汗と泥に塗れた3人を迎えて、「ご苦労さん、やっと終わったね。」と囁いた。宿泊地古知平、夜、江文神社で後夜祭。

10月19日 閉会式 午前10時 大原小

3日目は京北町上黒田から雲取山に登って芹生に至る、

朝4時に起床し、再度の計量とパッキング、朝食もそこそこに、上黒田に7時10分に着きました。7時40分より点呼と競技の説明があり、9時より1番がスタートし、新潟チームは13番に、帯刀コーチ、石山さん、金沢さんの声援に送られて、9時12分にスタートしました。特区ゴールの無線が入ってくる。10時34分、しばらくしてコースゴールに吾がチームが入ってくる。計量、装備審査、記録票の提出、汗と泥に塗れた3人を迎えて、「ご苦労さん、やっと終わったね。」と囁いた。宿泊地古知平、夜、江文神社で後夜祭。

2月3月に登れる山 上州物語山(1019m) 長岡ハイキングクラブ

関越高速道藤岡ICより、R254を下仁田へ向けて右手に妙義山1104mの岩峰を眺め、梅の花咲く谷間の道を走る。荒船鉾泉(甘楽郡下仁田町南野牧)より左折し林

道を一Km位登る。砂防ダムが終点になる。ここより水の涸れた沢筋の登山道歩く。指導標には頂上まで60分と僅かの時間である。沢筋は危険防止の為に鎖

学校。

其して大会の成績は、踏査24位、登攀12位、縦走34位、種別で23位となりました。

吉野国体委員長を偲んで京都市を目前にして急逝された、吉野さん。事前調査、練習での御指導、吉野談義等短期間ではありましたが、色々と有難うございました。ここに謹んでご冥福を成年男子一同お祈り申し上げます。

最後に、国体での強化対策費に協力いただいた、笹神村うすゆき山の会、デラシネ山の会、悠峰山の会、新潟鉄工山の会、長岡ハイキングクラブの各団体、技術指導に援助いただいた多勢の協会員皆様

に感謝申し上げます。

三 間 清 治

の手摺が設置されている。左岸より右岸に渡り、別の沢筋に入ると、炭焼き窯跡がある急登の杉林、唐松林のガレ場が続き、雪が有れば難渋する場所である。約40分登ると鞍部に出、ルートは右に折れ稜線沿いになる。関東の寒風が強くアイスバーン状になっているので、斜面では脇の雑木につかまり滑って転ばぬことだ。稜線が平になった頃から、正面に荒船山1423mの特徴である断崖絶壁が見えてくる。山頂は見通しが悪いので、適当な場所カメラに納める

財団法人日本体育協会

公認スポーツ指導員

資格移行講習会案内

主管 財団法人新潟県体育協会
 参加者 (1)財団法人日本体育協会公認スポーツ指導員で文部省から「社会体育指導者知識・技能審査認定事業」として許可を得た競技における資格取得者であり、日本体育協会へ登録している者を第一優先とし、100名を募集する。
 (2)上記以外の登録指導者の

方が良い。ゆっくり歩いて駐車場より90分で山頂に着く。優雅な名前の物語山頂上は、冬枯れの雑木に覆われた三等三角点の他には何も無い。展望は北に乱杭状の岩峰の妙義山とドーム型の雪の浅間山、西に物見山と内山峠に並んで荒船山の太岩壁が立ち上がる。寒風を避けて休憩し、滑って転ばぬように下山する。帰路は往路、時間に余裕があればトンネルになった内山峠を抜け、佐久、小諸、菅平、長野経由で帰るのも良い。

政 2時間(都道府県・市町村スポーツ行政と地域スポーツ施策を中心に)
 期日 平成元年2月26日(日)
 午前9時～午後6時
 会場 新潟会館
 新潟市幸西3丁目3番1号
 ☎025-247-9307

参加料 1000円
 資格審査料 3000円
 参加申し込み
 平成元年2月21日(火)までに協会事務局へ。詳細、資料希望者も協会事務局まで。

長岡市学校町1-12-23
 室智輝男 方
 ☎0258-3210428

冬山研修会

案内

期日 2月18日(土)～19日(日)

会場 新発田市滝谷地内焼峰山(1085・6m)
 会費 1000円

集合 新発田市滝谷「農村婦人の家」午後6時

日程 18日午後7時より講演「猟師達の山歩きと私達」

五十嵐篤雄

午後8時 懇親会
 19日、朝食をすませ7時出発、技術委員によるブロック毎の研修を行い、滝谷集落から焼峰山に向う。頂上11時集合、中食後下山。農村婦人の家で閉会后、午後3時解散の予定。

天候の事情でコース等変更する場合があります。装備 冬山日帰り装備とするが、ワカン、防寒具は必携。へお申し込み下さい。

守門岳(大岳)

スキーツアーの案内

雄大な守門岳をスキーで散策し、相互の親睦と交流を深めたいと思います。尚、年度最後の新潟県山岳協会の行事となります。多数のご参加くださるようご案内申しあげます。

期日 平成元年3月25日(土)～26日(日)
 集合 3月25日(土)午後3時、栃尾市栃堀 賽の神橋
 行程 梨ノ木平ノ峠ノヤヅメノ道院 道院ヒュッテ泊
 3月26日 午前6時出発
 道院ノ万太郎山ノ保久礼ノ

その他 会場に寝具はありません。トン汁は用意いたしますが、食事、飲みものは各自で用意願います。尚、炊事場にガスコンロ等がありますので、ご利用下さい。

準備の都合がありますので2月15日までに事務局又は、下越山岳会 五十嵐篤雄 宛、(☎0254-2212928)へお申し込み下さい。

大岳(休憩)ノ保久礼ノ道院ノ峠ノ賽の神橋
 午後3時 解散予定
 装備 スキー一式、寝袋、食糧、一泊春山スキーツアーに必要な装備
 申し込み 3月20日、左記に申し込み下さい。

〒940
 長岡市学校町1-12-23
 新潟県山岳協会 宛
 ☎0258-3210428
 問い合わせ 藤井 信
 ☎0258-3214835